

令和 7 年度 大学活性化経費 事業成果報告書

事業区分 (1) 教育の質的転換に関する事業

申請組織 大学運営会議 入学広報実施委員会

申請組織長 役職名 入学センター長 氏名 本山 昇

統括責任者 役職名 入学センター長 氏名 本山 昇

課題名 入学前教育（スクーリング）の実施

	役割	氏名	所属・役職名	役割分担
事業組織	統括責任	本山昇	入学センター長	統括
	副代表者	丹羽健太郎	副入学センター長	統括補佐
	各学部責任者	藏澄美仁、藤岡阿由未	学部長	各学部事業実施
		藤原直子、羽成隆司	〃	〃
		植林 茂、磯部錦司	〃	〃
事務統括	杉浦美佐子	〃	〃	
	企画広報部長 小林正典 入試課長 飯田 篤	企画広報部長 入試課長	事務統括 実務担当	

1. 事業開始の背景・経緯や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

文部科学省の大学入学者選抜実施要項において「各大学は入学手続をとった者に対し、必要に応じ、これらの者の出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組む課題を課すなど、入学後の学習のための準備をあらかじめ講ずるように努める」とされている。

本学では、平成 26 年度より合格者が安心して、入学できるように入学前教育（スクーリング）を実施してきた。

スクーリングの主な目的は、①大学教育への期待と自覚を高めることによる、モチベーションの維持・向上、②入学前の不安の解消、③大学の教育内容についての理解を深めて、入学後のスムーズな学修につなげることである。

スクーリングは今年で 12 年目となり、各学部学科のプログラムも毎年見直し、充実してきている。

2. 事業方法（特色・独創性）等 (300 字程度で記述)

・入学前スクーリング（第 1 回）は、総合型選抜（AO 選抜）および学校推薦型選抜の合格者を対象とし、入学前スクーリング（第 2 回）は、第 1 回の参加者に加え「一般入試 A」「大学入学共通テスト利用入試 A」および「一般入試 B」の合格者を対象に、すべての学科の学生が参加できるように計画した。

・入学前スクーリングは、課題の提示、先輩学生とのディスカッション、卒業作品や卒業研究発表の鑑賞・聴講など、学部・学科の教育内容や興味・関心を高める内容としている。また、こども園などの実習先（将来の進路先）の見学なども実施した。

・大学内での活動中の不慮の事故に備え、参加学生は、全員、傷害保険に加入した。

3. 事業の成果 (600字～800字程度で記述)

先述のとおり、スクーリングの主な目的は、①大学教育への期待とモチベーション維持・向上、②入学前の不安解消、③大学の教育内容理解と入学後のスムーズな学修につなげることである。

入学前スクーリング参加者は、大学での学びを知ることができるだけでなく、教員や在学生との交流を通じて、人間関係を構築するきっかけとなり、4月以降の学生生活に対し、安心感と期待感を持つことができる。

12月の入学前スクーリングの合計参加者数は800名となり、総合型選抜を専願制にしたことにより、昨年747名より増加した。参加状況は、専願入試の併設校制推薦入試の第1次入学手続者の参加率が最も高く、次いで総合型選抜、指定校制推薦入試となっている。参加者アンケートの集計結果からは、全体として入学を前に「授業について行けるか心配」「友達ができるのか」などの不安を抱えていることが読み取れる一方で、入学前スクーリングへの参加を通じ、これらの不安解消、入学への期待感の醸成につながっていることも読み取れる。

本事業の目的である入学者のモチベーションの維持・向上のため、各学部学科が以下のような工夫を凝らしたプログラムを準備した。

管理栄養学科：在学生による講演会とグループワーク、課題レポート提出

生活環境デザイン学科：希望分野の課題に関するプレゼンテーション、課題発表と講評

英語英米学科：独自学習を進めるための「Get Prepared」ウェブサイトの使い方の説明。小グループでのアクティブラーニング。

国際教養学科：国際教養学科での学びの説明。独・仏・中のウィンターソングを聴いて一緒に発音したり、グループワークを行う。

人間共生学科：人間関係トレーニング、少人数ワークショップ（人間共生学科の学び体験）

心理学科：心理学実験の体験

情報デザイン学科：大学の学びへのガイダンス、在学生との座談会、少人数グループワーク

現代社会学科：現代社会を生きる「わたし」を知るワークショップ

現代マネジメント学科：ビジネスプランコンテスト本大会高校の部動画鑑賞、グループワーク・発表

子ども発達学科：こども園・小学校見学、交流アクティビティ、在学生との交流など

看護学科：「忘れられない看護エピソード集」のアニメーション視聴意見交換、入学予定者、在校生、教員との交流

4. キーワード (本事業のキーワードを1つ以上8つ以内で記載)

①入学前教育	②モチベーション	③不安解消	④入学後への繋ぎ
⑤	⑥	⑦	⑧

5. 事業の達成状況及び今後の課題 (事業の達成状況を踏まえて、課題、反省点、及び今後の取組みを具体的に記載すること。また、イベント等実施の場合はその参加人数(外部・内部)についても明記すること。)

4月以降に提出される課題をもって入学前教育(スクーリング)は完了となるが、4月の入学以降の学修に繋げていけるようにすることが課題と言える。

毎年、各学部学科の内容を見直し、充実したプログラムとなってきている。入学後の学修に繋がるスクーリングを行うことによって、受講生徒の入学意欲が強くなり、またそれが高校からの評価となって学生確保にも繋がっている。

入学前スクーリング参加者に対しアンケート調査を実施した学科では、集計結果において人間関係の構築や大学における学びへの期待など、入学前スクーリングへの満足度が非常に高いことが伺えた。入学前スクーリングは全学科で実施しており、併願制入試での参加者に本学の魅力を伝え、入学後の大学生活や学びへスムーズに移行し、確実な入学へとつなげていく。